

健康・医療情報分析プラットフォーム

北海道事例

日立の独自AIとノウハウを活用し
道民約7割の全世代型予防・健康づくりを支援

全世代型で健康・医療情報の利活用を促進

国民健康保険、協会けんぽ、後期高齢者医療、介護保険の健康・医療情報を集約し、全世代型での予防・健康づくりに対応します。

個人の健康リスクを抽出/保健指導効率化

日立独自AIなどの活用で個人の健康状態に応じた健康リスクの抽出を実現し、個人の健康リスクを正しく捉え、保健指導を効率化します。

分析レポートで、保健事業全体を効率化

保健事業のPDCAサイクル、それぞれに応じた分析レポートのラインアップを整備(約50種類)します。

北海道民の生涯を通じた全世代型予防・健康づくりをめざし、人口の約7割を対象とする「健康・医療情報分析プラットフォーム」が本格稼働



出典:2023年4月3日 日立ニュースリリース
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/04/0403.html>

